

資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

廃棄物の削減と再資源化の取り組み

廃棄物について排出量の削減とともに再資源化を図ることが重要な使命と認識して取り組んでいます。

2012年度からカワイグループとなったピアノのフレーム製造の(株)カワイキャスティングから鋳物製造時に生じる鋳さいが産業廃棄物として大量に排出されるためカワイグループ全体の産業廃棄物排出量は大幅に増加しました。

その後、(株)カワイキャスティングは生産ラインの合理化、生産効率の改善に取組み、産業廃棄物排出量は2012年度の2,210tonから2017年度の959tonにまで削減(-57%)しました。その結果、2017年度のカワイグループ全体の産業廃棄物排出量は1,976tonとなり、2012年度比で38%削減することができました。

廃棄物の再資源化率についても当初、再資源率の小さかった(株)カワイキャスティングの影響が大きく、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度に悪化しましたが、その後、(株)カワイキャスティングで鋳さいの路盤材などへの再資源としての使用を進めることにより(株)カワイキャスティングの再資源化率が2012年度の39%から2017年度に64%に増加し、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度の57%から2017年度には82%に向上しました。

なお、(株)カワイキャスティングを除くカワイグループの産業廃棄物排出量は、2016年度1,038tonに対して2017年度1,018tonとほぼ同程度で推移し、再資源化率は2017年度99.8%で99%以上を継続維持しました。(株)カワイキャスティングに次いで多くの産業廃棄物を排出している竜洋工場では木くず、木粉を製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料等に活用し、フェルト屑は堆肥化などに活用することにより再資源化率100%を達成しております。

今後もグループ全体で廃棄物排出量の削減、再資源化率の向上を目指してまいります。

リサイクル・リユースの取り組み

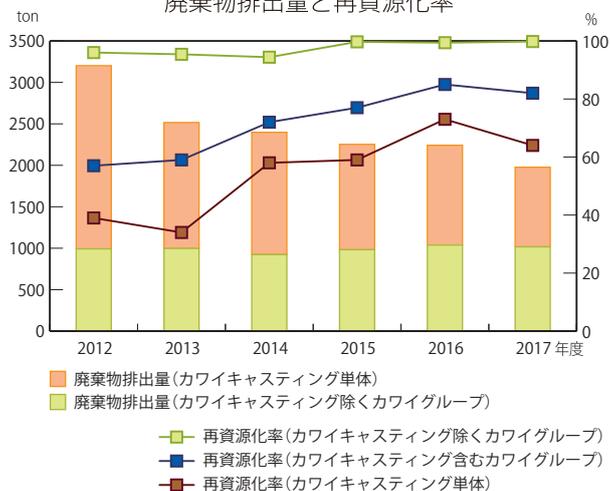
循環型社会形成推進のための拡大生産者責任の考え方を踏まえて、1998年に(株)ピアノリサイクルを設立し(現在は(株)河合楽器製作所に吸収合併)、ピアノの再生と再使用・リユースを推進しています。現在、国内統括部のリサイクル担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。また、日本国内の営業拠点においても下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2017年度に国内で約900台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、29%は輸出され、世界の各地で使われています。

メーカーによるピアノ再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり90年の製造部門で長年の経験を持ち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から好評をいただいています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、大きな魅力となっています。

廃棄物排出量と再資源化率



廃棄物の再利用 (竜洋工場)

下取りしたピアノの再生リユース (2017年)

